

第6学年図画工作科学学習指導案

1. 題材名

二枚の板から

2. 題材の目標

(1) 図画工作科としての目標

- ・くらしを豊かにするものを思いつき、既習事項や、経験を総合的に生かしながら、表し方を工夫してつくることができる。

(2) 汎用的スキル

- ・つくるものに応じて、順番や方法、用具を考えながら取り組むことができる。(先を見通す力)

(3) 態度・価値

- ・思うようにいなくても、原因や改善策を自分なりに考え、よりよいものをつくろうとすることができる。(困難を乗り越える力)

3. 児童の実態

6年生は、卒業をひかえ、様々な場面でまとめを行っていく。本題材は、これまでの工作のまとめとしてだけでなく、自分で考え、決めて、だれかの為に大変な思いをして最後までつくる経験することを大切にしている。身の回りにあるものは、それらをつくった沢山の人の思いが詰まっているものであるということを感じると共に、自分たちのアイディアや、努力で、自分たちのくらしはよくなるということを感じ、今後の人生を自分たちの力で豊かにしようという気持ちを育みたい。

4. 題材について

(1) 教科から見た特性

本題材は、厚さの違う2枚の板から、これまでの既習事項や、経験を活かしながら、くらしを豊かにするものを考え、立体に表す活動である。工作に表す活動のまとめとして、この題材を位置づけている。テーマは、くらしを豊かにするものとし、便利になること、楽しくなること等、豊かとは何かを全体で考えた後、いくつかの条件をふまえ、具体的にどういったものをつくるのか決めていく。条件は、①誰が使うものかを定めること②板を切る、つける、ぬるの3行程が入ること③立体作品であること④1枚以上2枚以内の板でつくることである。これまでの活動を振り返りながら、自分のつくりたいものに合わせ、用具や行程を考え、最後まで試行錯誤を繰り返しながら取り組むことをねらいとしている。

(2) 汎用的スキルや態度・価値育成の観点から見た特性

つくるものがそれぞれ違うので、個人で考え、決めていくことが多い。だが、取り組む上で大切にしたいものは共通する部分が多く、その両方に学びがある。教師側がすることは、条件やテーマの投げかけや、用具、場の準備程度、最低限に留めたい。つくるうちに、失敗することや、うまくいかないこと、面白いアイディアが浮かんでくること、思いがけずすごいことができたこと、そういったことがあちらこちらからでてくる。そういったものを教師は見逃さず、全体で共有することで、互いに高め合う場をつくる必要がある。つくるものは違っていても、皆でつくっているという意識を大切にしたい。

5. 題材計画と資質・能力を育成する主な手立て（全20時間 本時12、13/20時間）

	学習活動	関連する主な資質・能力	資質・能力を育成する主な手立て
第1次 (3時間)	つくるものを考える。	○先を見通す力	○アイディアスケッチ ○工作用紙での試作づくり

第2次 (16時間) 本時	板から作品をつくる。	○先を見通す力 ○困難を乗り越える力	○各自で選択できる用具や場の準備 ○試行錯誤ができる時間の確保と全体への投げかけ
第3次 (1時間)	お互いの作品を鑑賞する。		

6. 本時の学習指導

(1) 本時のねらい

- ・使う人のことを考えて、色や形、しくみを工夫しようとすることができる。

(2) 準備

教師：電動糸鋸、鋸、玄翁、釘、ペンチ、万力、木工やすり、紙やすり、ハケ、面相筆、ニス等

児童：ノート、筆記用具、絵の具セット

(3) 本時の展開 (12, 13/20)

時間	○学習活動 ・予想される児童の反応	◇資質・能力を育成する主な手立て◆評価
導入 5分	○前時を振り返る。 ・お母さんの好きな色だから、全体を青にしているっていいアイディアだね。	◇児童の様子から本時のテーマを設定できるよう、写真や映像、ノートの記述から、取り上げたいものを選んでおく。
	使う人のことを考えると、どんな工夫ができるだろう？	
展開 65分	○使う人のことを考えながら作品をつくる。 ・全体に色をぬろうと思っていたけど、これを使うペットが食べてしまったらよくないから、内側は何もぬらないで、やすりがけをしよう。 ・使うときに楽しい気分になってほしいな。ふたの開き方を変えてみようかな。 ・もう少し高くした方が使いやすいけど、ボンドだけではなかなか木がくっつかないよ。 ・木を組んでみたらどうかな？	◇つくるものに応じて、順番や方法、用具を考えながら取り組むことができるよう、用具や場を準備しておく。(先を見通す力) ◇うまくいかず悩む姿や、発言をとりあげ、全体で共有することで、周りの児童にアドバイスを促し、改善策を探る。(困難を乗り越える力)
片付け 10分	○片付け ○活動のふり返りと次回の計画	◇うまくいかず悩む姿や、発言があったとき、それにうまく活かそうなことをしている児童をその児童に紹介し、見に行くよう促す。(困難を乗り越える力)
まとめ 10分	・友だちのアドバイスで新しいひらめきがあった。さらに面白いものにしていきたい。 ・次回までに、家族に好きな色をインタビューしてこようと思う。次回は色塗りをする。 ・自分で使う分にはちょっとのことはいいと思ってしまうけど、お母さんが使うことを考えたら、最後まで丁寧につくりたいと思えた。 ・自分が使っているものも、つくっている人の思いやりが詰まっているんだと思った。	◇やってみたこと、うまくいったこと、発見したこと、うまくいかなかったこと、悩んだことと、次回の計画をノートに書く時間をとる。(先を見通す力) ◆使う人のことを考えて、自分の作品や計画を見つめ直し、工夫しようとしている。(行動、発言、ノートの記述)